



校 長 吉 田 康 孝

5月18日の屋久島地方を襲った50年に一度と言われる記録的大雨により、崖崩れによる生活道路の寸断や水道施設被災による断水、家屋への浸水など、ここ口永良部島にも、甚大な被害がもたらされました。人的被害に至らなかったことが何よりも不幸中の幸いですが、被災された皆様方におかれましては、心中察するに余りある御心労がおありのことかと思えます。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。また、今回の災害復旧に向け、公民館長、口永良部消防団長をはじめとする島内防災組織に携わる皆様方の迅速な対応に加え、海上保安庁による飲料水の支援、陸上自衛隊による生活道路、水道施設等の復旧作業など御尽力を賜りました関係機関の皆様方に心から厚く御礼申し上げます。

さて、先月も日曜参観や小学校の宿泊学習など多くの学校行事が行われました。これらの教育活動を通じ、有り難く感じる事がいくつかありましたので、御紹介させていただきます。

一つ目は、日曜参観についてです。年に一度実施される日曜参観ですが、児童生徒・保護者・学校職員、それぞれの立場でさまざまな思いをお持ちのことと思います。今回特に印象深く感じたものの一つに、日曜参観に向け子供たちが用意した「大きな竹の子」の劇がありました。発表に至るまで、児童生徒会を中心に何度も内容の練り直しや練習を行い、当日を迎えました。それだけに発表後の会場からの盛大な拍手は子供たちにとって大きな喜びや自信になったようです。また、授業参観での我が子が元気いっぱい発表する姿に思わず微笑む保護者の方々、そして親子レクリエーションでの児童生徒・保護者・学校職員が心底楽しそうに競技に熱中する姿に心なみ、有り難く感じました。

二つ目は、小学校5・6年生を対象とした集団宿泊学習についてです。屋久島環境文化センターの皆様のかみ細やかな対応により、子供たちは安心・安全な環境の中、充実した宿泊学習を実施することができました。また、子供たちの感想には白谷雲水峡や星空観測会などの楽しい思い出に加え、保護者や家族への感謝などが記されており、多くの価値あるものに気付くことができました。宿泊期間中は、決して楽しい活動だけではありませんでしたが、誰一人弱音を吐くことなく、笑顔で乗り越えていく姿に、金岳の子供たちの底力とたくまさを強く感じさせられました。

このように学校教育の至る所に、教育的価値を含む「楽しさ」が見出されることは私たち、学校教育に携わる者として、この上ない喜びを感じるどころです。「楽しい」という心境は、心にわだかまりのない「自由や安心」を内にもつ心境であり、何よりも学習活動への一番の動機付けとなるものと言われています。主体的な学びにつながる「楽しい活動・体験・経験」を工夫・実践することを大切にしたいものです。学ぶことの楽しさを基盤とする学習活動をもとに、さらに、次の段階として、困難と感じることさえも、自己の課題を克服する喜びや楽しさに転換できる力も育んでいきたいと考えます。今後も「知・徳・体」のバランスを念頭に子供たちの島立ちを支える「生きて働く力」の育成を目指し、教育活動の充実に努めてまいりたいと思います。



自由や安心」を内にもつ心境であり、何よりも学習活動への一番の動機付けとなるものと言われています。主体的な学びにつながる「楽しい活動・体験・経験」を工夫・実践することを大切にしたいものです。学ぶことの楽しさを基盤とする学習活動をもとに、さらに、次の段階として、困難と感じることさえも、自己の課題を克服する喜びや楽しさに転換できる力も育んでいきたいと考えます。今後も「知・徳・体」のバランスを念頭に子供たちの島立ちを支える「生きて働く力」の育成を目指し、教育活動の充実に努めてまいりたいと思います。

記録的豪雨で浸水や断水の被害・・・力を合わせて復旧作業

5月18日(土)の記録的豪雨で、川が氾濫し土砂が流れ込んだり、島内も多大なる被害を受けました。その後、断水も続き不便な生活を強いられましたが、力を合わせて復旧作業に取りかかりました。土砂や流木の除去作業、道路の整備など、人の力はすごいです。断水もありましたが、地域の皆さんが水を提供してくださったり、洗濯機を貸してくださったり、私たちも有り難い限りでした。本村温泉もとても癒されました。自衛隊の方々も駆けつけ、復旧作業が更に加速し、23日(木)には水道が復活しました。水が出た時には大きな拍手が起こりました。当たり前のことのありがたさを感じた数日間でした。25日(土)は自衛隊の方々の見送りに島民みんなで行きました。大変お世話になり、ありがとうございました。



自分たちの手で作る自主的活動！「第1回児童生徒総会」



児童生徒会の活動が本格的にスタートしました。4月19日(金)は第1回の児童生徒総会が行われ、生徒会長の葉山ころろさんを中心に事前の準備から良く取り組み、スローガンの決定、月ごとの目標や年間計画の確認、そして意見箱に入っていた意見についてみんなで話し合いました。話し合い活動も自分たちでできるようになっています。運営や司会も全部任せていますが、回数を重ねる度にもうできるようになっています。児童生徒会が主体の行事もたくさんあるので、自主的にどんどんできるようになってほしいです。児童生徒集会では原田教諭が「りんごがたべたいねずみくん」の絵本を題材に、チームワークの大切さを語りました。「大きな竹の子」の劇も力を合わせて大成功させることができました。

先人に学ぶ！「学校創立記念行事」

5月15日(水)に小学校で学校創立記念行事が行われました。今年度で141周年を迎え、伝統ある金岳小の歴史を知りました。後藤利幸さんを講師に招き、「令和の皆さんにたくす夢」と題し、御自身を含め4名の方々のエピソードを御紹介いただきました。終わりに、天網恢恢(てんもうかいがい)という言葉を用いて、



「相手に気持ちよいことをすれば自分も幸せになる、逆に相手に嫌なことすれば自分も不幸になる。子供たちのあいさつで、我々高齢者も元気をもらいます。」と笑顔で語りかけてくださいました。その後、旧小学校跡地に移動して清掃活動を行いました。みんな汗を流してよく頑張りました。



佐名川 祥平さんの感想

後藤さんの話を聞いて、初めて知ったことやなすけることがいっぱいありました。印象に残っていることは、家の仕事は今よりすごく大変だったということです。ビックリしたことは、「イメージ以上に昔の先生は恐くて鬼みただったんだな。」ということでした。後藤さん、楽しい話をたくさんしてください、ありがとうございます。



なかなかうまく描けているぞ！「スケッチ大会」

5月11日(土)、今年最初の土曜授業の日にスケッチ大会が行われました。このスケッチ大会をずっと楽しみにしてきたという梗さんは、港から日が沈んでいく大きな山を描きました。デッサンスケール(手で使った四角)越しに風景を見ながら構図を決め、岩や草などの細かいところまで描写することができました。ころろさんは、ブランコを中心に校庭の風景を描きました。建物のデッサンに初挑戦のころろさんは、美術の時間に学んだ遠近法に挑戦し、より立体的に描写することができました。小学生は全員、金峯神社に行きました。大きな鳥居の下から見上げ、迫力のあるデッサンをする児童や神社から見える本村港やその回りの自然風景を描いた児童もいました。波の様子や山々に光が当たる様子、木の葉一枚一枚をよく観察して、それぞれが納得するデッサンができました。

楽しい企画がいっぱいの「日曜参観」

5月26日(日)に日曜参観が行われました。まずは朝活動のえらぶっこタイム、「大きな竹の子」の劇でスタートしました。小中学生が協力して取り組みました。昼休みも練習を頑張っていたので本番は大成功してよかったです。授業参観では、小中ともに全学年を対象に道徳の授業を実施し、他にも国語・理科・図工が行われました。各クラス真剣にそして楽しく授業は進みました。3・4校時は親子レクリエーションのミニ運動会を実施しました。保護者の皆さんもハッスルしていました。パン食い競走、大玉転がし、玉入れなど馴染みの種目がいっぱい、親子で汗をかいて、楽しい時間が流れました。



さあ、力試しをしよう「中間テスト」



5月22日(水)・23日(木)の2日間にわたり中学校で最初の中間テストが行われました。緊張した様子でしたが、50分間真剣な眼差しで粘り強く問題を解いていました。訂正もしっかりしましょう！

6・7月の行事予定

< 6月 >

- ◎ 20日(木) 教育相談④
- ◎ 21日(金) 海開き・学校水泳
- ◎ 26日(水)～28日(金) 期末テスト④

< 7月 >

- ◎ 2日(火) 家庭教育学級
- ◎ 4日(木) 学級PTA
- ◎ 11日(木)～13日(土) 職場体験学習④
- ◎ 15日(日) CPTA海洋研修会(予定)
- ◎ 19日(金) 1学期終業式